

## 令和2年度第3回デ活シンポジウム

### 「大規模集客施設における防災力の向上を考える」

日時：2020年12月18日（金）15:00～17:10

#### あいさつ

福田 和樹（文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 防災科学技術推進室長）

日頃から本事業にご関心を持って参加いただき、大変感謝申し上げます。本日は、大規模集客施設における防災力の向上がテーマです。本年も間もなく終わろうとしている中、特に本年はさまざまなことがありましたが、大規模な集客施設においてあらゆる意味でのレジリエンスを確保することは、私たちが豊かな社会生活を送る上で不可欠なものと考えています。本日は、実際にそのような施設を所管している責任ある方々のお話を直接伺うことができるということで、大変楽しみにしています。

今日のシンポジウムは「デ活」ということですが、デ活という観点では改めてデータの重要性が見直された1年といえるのではないかと考えています。本年、どのようなことが起きたかということに関して逐一申し上げることはしませんが、目下、政府においてデジタル庁の設置に向けた検討が進められていますし、その中で、防災を含む重要な分野のデータのあり方も、検討課題として上がっていると聞いています。その中でのデ活のあり方と、デ活を含む文部科学省の事業である、首都圏を中心としたレジリエンス総合力プロジェクトのあり方を考えていく必要があるのではないかと考えています。

特に来年度は、本事業の最終年度となりますので、最終年度を迎えて、今後のあり方についても検討を進めていきたいと考えています。引き続き、さまざまな立場からのご意見・ご支援を賜れば幸いに思っています。本日は、どうぞよろしく申し上げます。